

2022Japan National Team Report ” サポーター”

報告者氏名	嘉手川 政道
大会名	THE 2022 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP
開催地	ムンバイ (インド)
大会期間	2022 年 12 月 13 日 (火) ～20 日 (火)

■ 帰国後 1 ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい ■ JODA 理事会にて確認の後に、ホームページに公開します

■ 記入時の注意点

1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい

■ 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	送迎バスによるホテルと大会会場間の移動、および大会開催エリアへの一般人立入り規制のお陰もあり、選手たちが行動するエリアは安心・安全に過ごせる環境が整ってました。今回の大会開催エリアである“Chowpatty Beach”は、ムンバイで有名な夕日スポット（下記写真参照）ということで夕方になると砂浜が見えないほどの現地人で埋め尽くされる光景を目の当たりにし、海に癒しを求める光景は万国共通である事を実感できるエリアでした。 
宿泊場所	サポーターも選手・三役と同じ宿泊場所を選択しました。五つ星ホテルということもあり、宿泊費はかなり高めでしたが、食事・ルーム環境とも申し分なかったと思います。何よりもセキュリティ面で安心して過ごせる場所でした。

大会のサポーターへの対応は	送迎や宿泊施設の手配について、サポーターは対象外であるにも関わらず、代替の宿泊施設として、近隣の五つ星ホテルを特別価格で提案いただいたり、コロナ禍で各航空会社の運行が定まらない中、インドのビスタラ航空の優遇手配を提案いただいたり、サポーターにも VISA 用の招待状を準備いただいたり、大変手厚く対応いただきました。おそらく準備期間が十分でなかったため、大会期間中は1時間後の予定がどうなるのか分からない時もあり、現場で調整することは多かったですが、各国とも状況を踏まえた行動をしており、協力し合えていたように思います。開催決定から開催まで短期間であった中、大会事務局には大変御尽力いただき、感謝しております。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	選手同士の些細なトラブルは散見されたものの、大会期間中に体調を崩す選手も出ず、ベターな状態だったと思います。

サポーターとして気をつけたことは？	選手のパフォーマンスを最大化できるよう自国開催レースと変わらない環境を最大限構築すべく、身体面およびメンタル面のケアのため個々人の言動を注視したこと。また、特に、食事面においては、多くの選手が望む“おにぎり”を準備・提供できるようにしたこと。
海外の選手を見て感じたことは？	タイ・シンガポールなどの上位国の選手は、陸上での様子などから明らかに明確な目標を持って参加していると感じました。その背景には、コーチ間のコミュニケーションを通じてわかったのですが、国としての目標も明確にセットして大会に臨んでいることが1つの要因であると感じました。
日本の選手を見て感じたことは？	何よりも大会を楽しんでいて、無事に開催されて良かったとつくづく感じました。英語に関しては、会話を通じてコミュニケーションを積極的に行っている他国の選手に比べ、日本の選手は単語やボディランゲージでのコミュニケーションが大半であり、 speaking 力がつけばもっと対等にコミュニケーションできるだろうと勿体無く感じました。
Spare day の過ごし方は？	到着翌日に市内を少し観光、帰国日にお土産店巡りをした程度で、思ったよりも時間に余裕がありました。
日本チームとしての課題はありましたか	毎年選抜される NT メンバー主体で大会に臨むことのメリットも十分あるとは思っていますが、JODA としてチームレースも含めた目標を掲げた上で、選抜後の NT 合宿などを通じて選手へのマインドセットを行うことで心身共にレベルアップできるような仕組みがあったら尚良いかなど、何も知らない素人ではありますが感じました。
JODAへの要望	NT 認定後、リアル/オンライン問わず最低限のコミュニケーションが取れるような英語の学習機会（実践形式メインであれば尚良い）を作っていただきたい、と初めて海外大会に帯同した経験から感じたため 要望します。

その他	＜炊飯器の持ち込みについて＞ 滞在ホテルは以前テロ事件が起きた事を受けて、セキュリティ確保に敏感であり、ホテル入館時に必ず セキュリティチェックが行われていました。そのため、セキュリティの観点から海外仕様の炊飯器であっても部屋への持ち込みは NG、大会期間の前半はおにぎりを用意できませんでした。たまたま私の知人 を介して、日本領事館等を通じてホテルと交渉でき、なんとか特別に調理場での炊飯器使用許可を得 て、選手たちに無事おにぎりを提供できました。この状況は当ホテルだけの対応とは限らないため、次 回ムンバイで開催される際に炊飯器を持ち込むのあれば、使用可能な宿泊先を探すか、事前に使用許可 を得てから現地入りしたほうが良いと思います。 ＜大会連絡係について＞ 大会事務局との連絡係を妻が担当しました。以下、今後担当される方の参考になりましたら幸いです。 ・登録サイトで、一度入力すると編集できなくなる箇所がいくつかあり。登録サイトに不具合があった 場合は、IODA に問い合わせて修正を依頼すれば OK。 ・ NOR の開示から第 1 回の支払までの期間が短く、またコロナ禍でフライトスケジュールが定まらず第 1 回の支払に必要な前泊について確定できなかったため、理由を明確に伝え、支払期限の延長を交渉した結果、半月ほど延長していただけた。 ・ 第 1 回第 2 回の支払とも、中継する金融機関に手数料を取られ満額送金できなかったが、状況を伝え たところ、よくあることとのことで、差額（計 \$ 24）は現地支払で了承いただけた。 ・ 大会数週間前より、事務局とのやりとりがメール→WhatsApp に切り替わり、複数の事務局メンバーから連絡が直接入るようになった。また大会連絡係は現地同行しなかったが、日本チームが現地入りした タイミングで、チームリーダーのグループチャットに三役全員を追加していただくことで連携できた。 ・ 登録サイトや事務局に、ID 用の写真、パスポートコピー、eVISA コピーを提出する際、ファイルの圧縮 や複数の PDF ファイルを一つにまとめる等求められ、若干の PC スキルが必要だった。
------------	--

ご協力ありがとうございました
JODA 海外派遣委員会